

# 六郷ろくごう

ひとりだちと豊かさを育み未来を築く

がっこうだよ 学校便り 10月号  
れいわ ねん がつ にち  
令和5年10月12日  
まつさかしり つうれしのちゅうがっこう  
松阪市立嬉野中学校  
こう ちょう やま した たか ひさ  
校長 山下 隆久

## じゅうじつ こうき 充実した後期に！！



ひごとに秋の深まりを感じるようになりました。保護者の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。三者懇談会ありがとうございました。今後も何か不安なことがありましたら学校にお伝えください。ご家庭と学校とで課題を共有して、子どもたちのために何ができるかを、保護者の皆様とともに考えていきたいと思えます。よろしく願いいたします。

さて、今年4月に小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果分析について報告します。この調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析して成果と課題を明らかにし、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として実施されています。調査内容は、教科に関する調査として国語・数学・英語、そして生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査です。調査により測定できるのは、学力の一部分であり学校における教育活動の一側面ではありますが、この結果を授業改善、生徒の学習状況の改善につなげることが重要と考えています。

## れいわ ねん どぜんこくがくりょくがくしゅうじょうきょうちょうさ せいかつめん ちょうさけっか 令和5年度全国学力学習状況調査「生活面の調査結果」

(◇ 良い点 ◆ 課題点)

- ◇ 困っている人を進んで助ける93%、人の役に立つ人間になりたい99%と多い。
- ◇ 自分にはよいところがあると思うの86%は全国・県に比べて6p多い。
- ◇ 自分と違う意見について考えるのは楽しいの82%は全国・県に比べて5p多い。
- ◇ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えるの72%は全国に比べて8p多い。
- ◇ 学校の授業以外に月曜日から金曜日 学習時間（塾・家庭教師・インターネット活用学習を含む）で「2時間以上」と回答した割合49%は全国・県に比べて16p多い。
- ◆ 毎日朝食を食べている生徒が78%と全国・県より0.5p少ない。
- ◆ 学校の授業以外に月曜日から金曜日 1日どれくらい読書するかで「全くしない～30分より少ない」の80%は全国・県に比べて6p多い。



## がくしゅうじょうきょう かん ちょうさけっか 「学習状況に関する調査結果」

- ◇ 学習内容で、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができたが75%で、全国に比べて5p以上多い。 <強み>



◆自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動をしたと思っている生徒の割合が58%で、全国に比べて15p少ない。〈弱み(課題)〉

## 「教科に関する調査結果」

本校の平均正答率は、数学が全国と同等、国語と英語はやや下回っていた。「授業内容はよく分かる」の肯定的回答が、国語・英語とも全国や県平均を上回り、数学は全国平均と同等で学習に向かう姿勢や理解は良好であるが、定着に工夫が必要である。



### 〈強み〉

- ◇国語では、意見と根拠など「情報の扱い」に関する領域がよくできている。
- ◇数学では、データ分布の傾向を比較して捉える「データ活用」の領域がよくできている。
- ◇英語では、情報を正確に聞き取るなど「聞きとり」の領域がよくできている。

### 〈弱み(課題)〉

- ◆国語では、自分の考えが伝わるように工夫するという「言葉の特徴や使い方に関する事項」において課題がある。この問題は無回答率が14%と高い。
- ◆数学では、表やグラフから必要な情報を読み取る「関数」の領域に課題がある。この問題は無回答率が11%と高い。
- ◆英語では、疑問詞を使って書いたり依頼する表現を書いたり等、正確に「書くこと」の領域に課題がある。

【個人により課題が異なります。3年生は個人票がありますので参考にしてください。】

## 今後の取組について

- 授業のめあてを明らかにして、わかる授業の工夫を継続する。
- 授業の最後に学習したことを振り返る活動の充実を図る。
- 学級やグループで話し合っ自分考えを深める学習（していると回答する生徒91%）を継続して、よりわかりやすい授業づくりをする。
- 学習タイムや自学・自習ノートの活用工夫により復習の時間を確保して、家庭学習の進め方を生徒自身が振り返る場をつくる。
- 文章やことば、式を用いて表現する言語活動を重視した授業づくりの充実を図る。
- 家庭や地域と連携して社会の出来事に関心を持つ姿勢を身につけるようにする。
- 生徒がネットモラルについて考えたり、ネットやスマホ等の利用時間や使用について見直したりする機会を、PTA組織や家庭との連携のもとで引き続きおこなう。
- 校区小学校と連携し、9年間を見据えた途切れない生徒支援をおこなう。



自分らしさに自信を持って、その「らしさ」の輝きを大切にしてください！